

## 事例 2 里山における幼児教育

～NPO大地（長野県飯綱町）の取組み～

- ・ 耕作放棄地や里山を緩やかに保全管理
- ・ 里山を利用した幼児子ども教室を開園
- ・ 意識の高い若手世代層が地域に移住し地域活性化

# 「大地」との出会い

これが私の息子です。

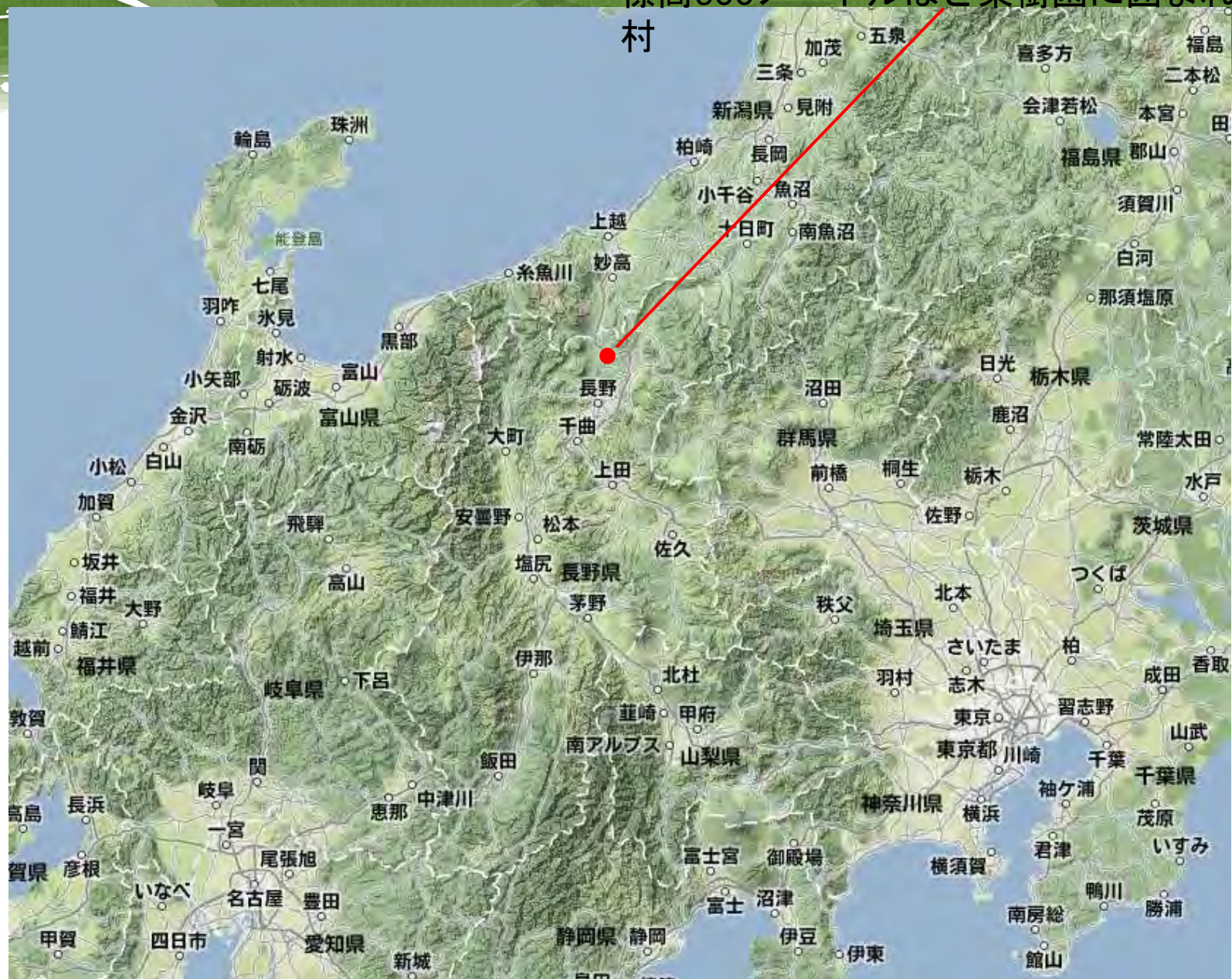




信州の豊かな自然と文化。  
こうしたものを活かした生きる力を育む保育をしていきたい。  
でも、なかなかこうした保育活動の魅力が地域で気付かれず活かされていない実態も。

# 「大地」のフィールド

長野県上水内郡飯綱町  
所在地長野市より車で30分  
標高600メートルほど果樹園に囲まれた農村





フィールド中心部の丘陵地の里山林。周囲をリンゴ畑や水田に囲まれている。ナラ、ブナなどの在来植生のほかカラマツ、スギ、キハダ等の人工林からなり、緩やかな管理が施されている。この丘を中心に活動地の里山林が四囲に広がっている。





リンゴ畑跡地に生えてきたコナラの森



園児たちと植林したキハダの森



リンゴ畑跡地に生えてきたカラマツ林

# 里山環境を活かした「大地」の手作り施設の数々









## 森の広場



広葉樹の林にテーブルや舞台、工作室があり、ここでさまざまな催しが開催されます。



## 森の台所



2011年3月にリニューアルされた森の台所。野外で自然の恵みを調理出来るように、おくど(竈)や石釜兼薫製機や大釜などを装備しました。羽釜によるご飯を炊いたり、みそ汁を作ったり。石釜では、沢山のパンやソーセージ、焼き豚、ベーコンなどの薫製も手軽にできます。子ども達がお風呂代わりに入れる位の大釜では、大豆を煮て味噌を作ったり、300人分のお汁を作ったり、肉まんなどを蒸かしたりも出来ます。

# あみあみた場



子どもたち1番人気のアスレチック。ツリーハウス、ブランコ、ロープなどが林の中に張り巡らされています。夏は、涼しさ抜群。40人は座れる長テーブルがあり、屋外食堂としても大人気です。

# 五右衛門風呂



薪で焚く銅製と鉄製、2つの五右衛門風呂。泥遊びの後やキャンプ時に入ります。ここからの眺めも最高です。



子どもたち用に大きさ・高さを設定した炭焼き窯



子どもたちとの里山整備でえられた薪。  
本施設の冬季暖房はすべてこの薪が使われる。

4月16日(月)

保育日誌から



5月24日(木)





6月7日(木)



# 「大地」設立の想い

入室案内より

- 幼児教室大地は、豊かな四季の恵みと流れを感じながら、子どもたちが穏やかに暮らせるようちえんです。
- 私たちは、子育てこそ「シンプル」「ナチュラル」「スロー」「ネイチャー」が一番だと考えます。
- それには、人工的な生活環境から少し離れて、より自然に近いライフスタイルの中で育てることだと考えます。
- 子どものもつ時間は、彼ら自身の育ち、成長のために費やすものであり、けっして大人や第三者のために費やしてはならないと考えます。
- 十分なメルヘンとファンタジーの世界を満喫します。

地域の人々の暮らしの息遣いが感じられる里山の自然の中で、保育活動を行うことが大切。地域の文化も保育資源、地域の人々からも理解とエネルギーをもらう。そのためのコミュニケーションも大切にしています。私たちの活動が地域作りにもつながることを願っています。（青山さんの話から）

# 「大地」の波及効果

- 里山の保全効果—日常的に子ども達が里山にいる！—
- 町内への意識の高い移住者の増加  
「大地」に入園するためこれまでに41家族が町内に移住。  
直近の5年間では毎年3～5家族のペースで移住している。
- 様々な分野の人々との交流促進
- 町による通園児への補助制度が創設
- 地域の活性化

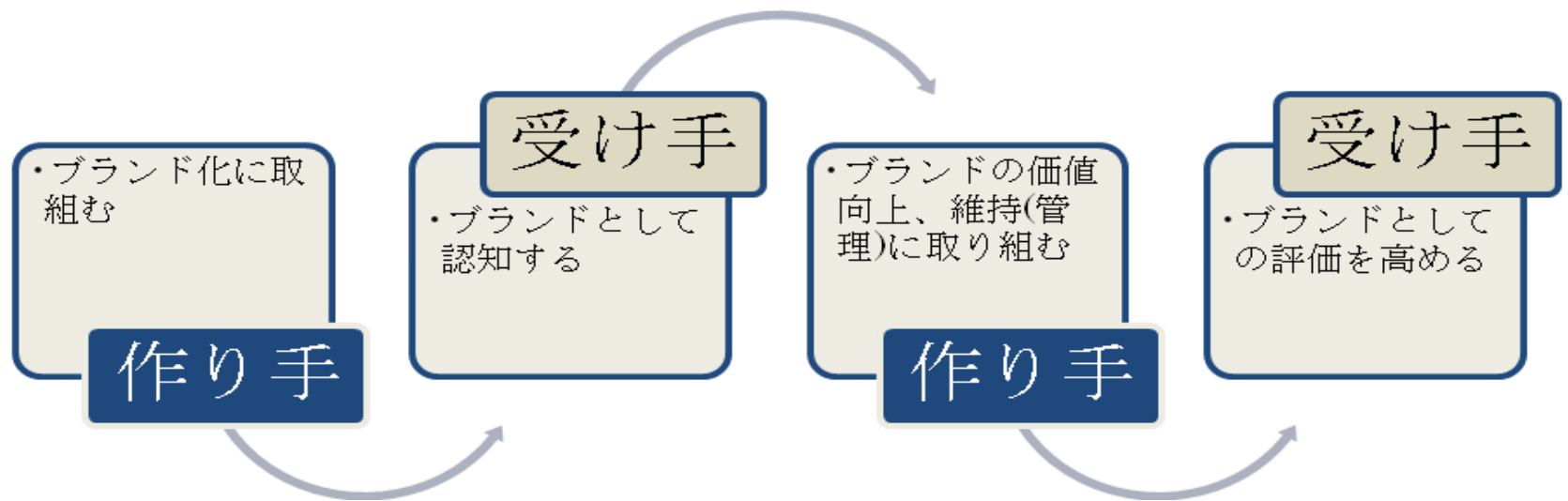
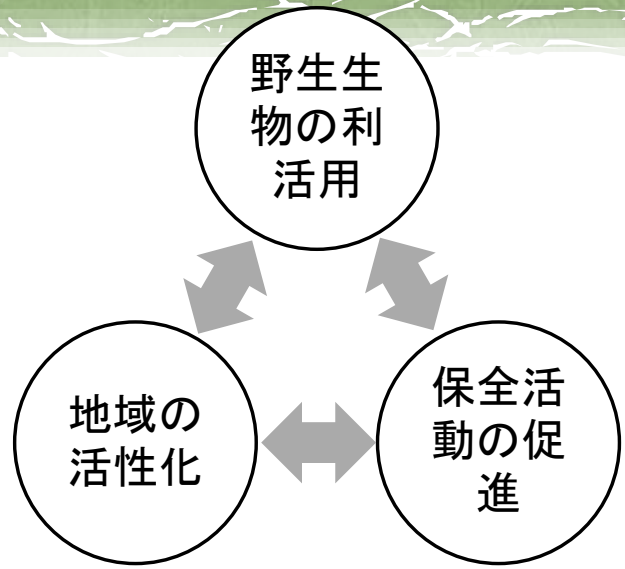
# 事例3 生きものを利活用した地域づくり

里地里山の生きものをシンボルにした地域  
ブランドの創出

- ・ 産品開発
- ・ エコツーリズム
- ・ 環境教育

などに活用

# 保全と活用の循環と生きもののブランド



# 里山の生きものを活用する3つの手法

## 野生生物をシンボルとした地域ブランドの創出 (生きものブランド)

### 特産品開発

(野生生物を利活用した特産品の開発)

### エコツーリズム

(野生生物をテーマとするエコツーリズム)

### 環境教育

(野生生物をテーマとする環境教育等)

# 先進的事例

- 野生復帰事業の波及効果としての地域ブランド形成-トキ・コウノトリ-
- 自然保護活動からのエコツーリズムや環境教育の展開-大崎市・蕪栗沼の水鳥-
- 農林水産業からの生きもののブランド形成-メダカ・ゲンゴロウ・ホタル他-

# 活用する生き物のタイプ

## 「まもる」

- ①地域で守りたい野生生物

## 「のこす」

- ②地域で残したい生態系・景観等

## 「つたえる」

- ③地域で伝えていきたい野生生物（人が利活用してきた生きもの）



# ①地域で守りたい野生生物の利活用事例

- オオムラサキの森活動による保全と地域づくり  
(埼玉県川比企郡嵐山町)
- フクロウをシンボルにした里づくり  
(栃木県宇都宮市逆面地区)
- ヒメサユリの小径整備と地域づくりのイメージ利用  
(新潟県三条市)
- ミズバショウをシンボルにした農業事業やエコツーリズム利用  
(全国各地)
- ナデシコの観光利用を企図した保全とネットワークづくり  
(京都府宮津市エコツーリズム協議会)
- 菜の花を活用した観光地の創出「千曲川・花の里山風景街

## ②地域で残したい生態系・景観等

- 草原保全と青少年への環境教育活用（認定NPO法人緑と水の連絡会議）
- 花野再生と特産品・観光活用の試み（なみの高原やすらぎ交流館など）

# 地域で伝えていきたい野生生物

- 天蚕による産品開発と地域づくり活用  
(福島県伊達市霊山町・新潟県十日町市)
- シークワサーの里山と生き物の共生で地域活性化  
(沖縄県大宜味村・やんばる舎)
- 薬草を活用した料理開発とカフェの運営  
(熊本県 小岱山薬草の会)
- 里山保全・整備残さ「クズ」を利用した健康商品開発  
(岡山県真庭市)
- 野草・薬草資源の保全活用を通じた島の生業づくり  
(沖縄県島尻郡伊平屋村)
- 和紙作りを軸にした里山保全と文化伝承  
(高知県高岡郡梶原町 かみこや)

# 事例 4 「里なび」-里山活動情報の有効利用-

さまざまな保全活用の技術的方策から取  
組み考える



TOP

里地里山とは

里なびとは

活動レポート

活動場所を探す

専門家を探す

団体登録申請

資料・文庫  
データベース

## 里地里山保全活動の継続・促進に向けた方策事例

平成21年度～平成25年度の研修会の内容から、里地里山保全活動に係る課題解決のための手法、効果的で持続的な取組とするための方策を抽出し、紹介します。

(1)手法別、(2)主体別、(3)活動(活用)分野別、(4)資源活用と計画策定タイプ別、に索引リンク集として整理してあります。目的に応じて検索の参考としてください。

### (1)手法別索引リンク集

1. 国民的取組のための基盤づくり
2. 経済的手法の導入
3. 持続可能な利用のための伝統的技術の保存、新たな利用技術の開発
4. 里地里山の現状把握とモニタリングの推進
5. 里地里山の特性評価の実施とこれに応じた保全活用の実施
6. 協働と持続性確保のための枠組み・体制の整備
7. 地域の自発的取組を促す支援体制の強化
8. 広域的な枠組みの整備
9. 計画策定と実行プロセス
10. 多様な主体の連携・協働
11. 地域活性化
12. 生き物ふれあい活動による理解促進

### (2)主体別索引リンク集

1. 地域集落・NPO等市民団体
2. 企業(CSR)・事業者
3. 研究教育機関
4. 行政

### (3)活動(活用)分野別索引リンク集

1. 保護・保全(計画策定)
2. バイオマス等資源利用
3. 特産品開発
4. 環境教育・エコツアー

### (4)資源活用と計画策定タイプ別リンク集(平成24年度作成分のみ)

1. 地域内循環型
2. 広域交流促進型

TOP

里地里山とは

里なびとは

活動レポート

お探しおきたい  
活動場所を探す

お探しおきたい  
専門家を探す

お探しおきたい  
団体登録申請

資料・文庫  
データベース

リンク集

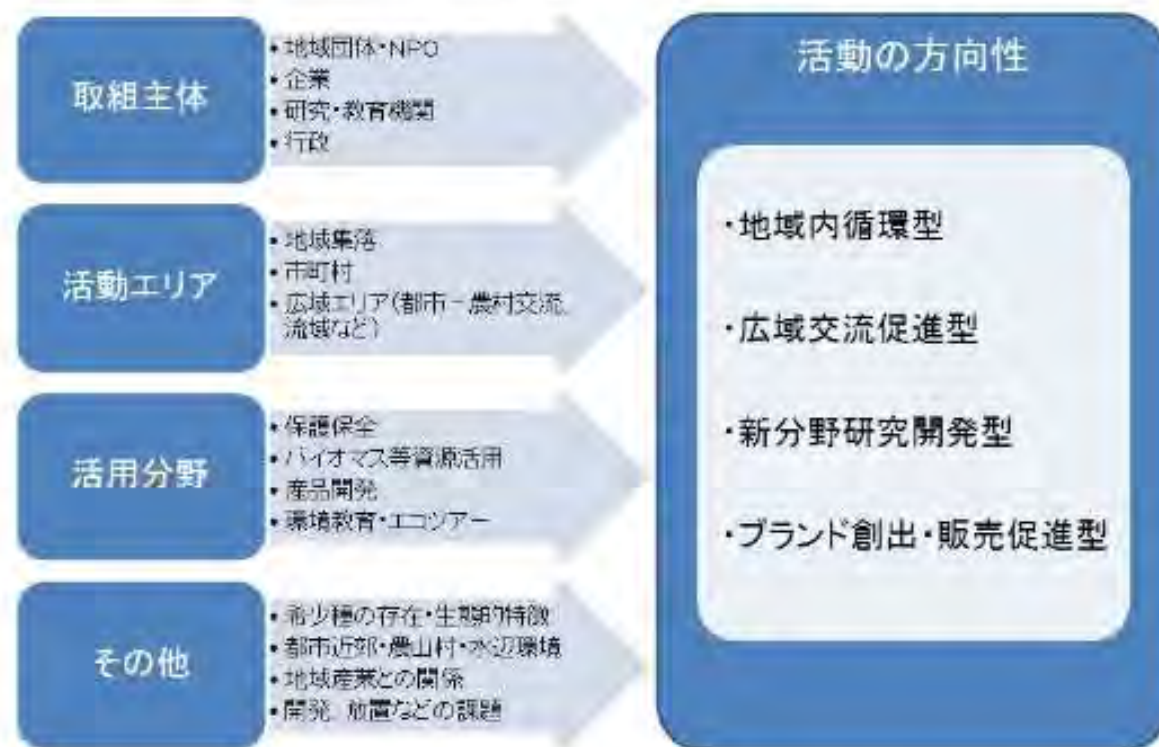
## 里地里山保全活動の継続・促進に向けた方策事例

平成21年度～平成23年度の研修会の内容から、里地里山保全活動に係る課題解決のための手法、効果的で持続的な取組とするための方策を抽出し、紹介します。  
(文責は全て事務局です。問い合わせ等は里なび事務局までお願いいたします。)

- (1) 手法別索引リンク集
- (2) 主体別索引リンク集
- (3) 活動(活用)分野別索引リンク集
- (4) 資源活用と計画策定タイプ別リンク集

### 資源活用と計画策定に着目した技術的方策の類型的整理

技術的方策において、資源活用を前提とした保全計画策定を効果的に進めていくための方向性について検討し、他の地域でも参考にしたり応用する際の足掛かりとするために、下記の5つの類型モデルに整理した(平成24年度作成のみ)。



## 1. 地域集落・NPO等市民団体

生物多様性保全にむけた生物モニタリングのポイント	日本野鳥の会 愛媛支部
杵町田湿地 連携と役割分担による保護と普及啓蒙の両立	武豊町、杵町田湿地を守る会
知多半島における生態系ネットワーク形成の推進体制づくり	地元NPO、地元大学、研究者、行政等
フクロウの森づくりネットワーク	グランドワーク西鬼怒
阿蘇における草原保全と花野再生のための取り組み手法	阿蘇花野協会
ふゆみずたんぼ（冬期湛水水田）	NPO法人田んぼ、蕪栗ぬまっこクラブほか
地元との連携による湿地生物（アベサンショウウオ）保全を軸とした湿地生態系の再生手法	水辺と生き物を守る農家と市民の会
地元学的手法による地域資源調査とまちづくりの取組の始動	布土まちづくり推進委員会
地域と連携した干潟環境の再生(干潟生態系の保全)	NPO法人くすの木自然館
バッファゾーン形成、農地整備、合意形成等の総合的な防除体制の構築	ひろしま人と樹の会、美和東ふるさと振興協議会
市民団体の里地里山保全活動における間伐材利用手法	はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会
地域と地域外ボランティアが協力した三方五湖の保全・再生	ハスプロジェクト推進協議会
地域の実践力を高める技術	いわて地域づくり支援センター
土地改良事業を契機とした里地里山保全活動の促進と運営の仕組みづくり	NPO法人グランドワーク西鬼怒
森の健康診断	矢作川水系森林ボランティア協議会

## 2. 企業（CSR）・事業者

「ボランティアの日」設定による社員の里山里海活動の持続的実施と地域貢献	能登建設株式会社
生物多様性保全のための生態系モニタリング調査の手法と活用	環境アセスメントセンター（株）
西条・山と水の基金 森、田、水源、地酒づくりを里山の資源活用と基金で結ぶ	西条・山と水の環境機構、他協力団体
広葉樹林の循環的利用のための多角的経済化	水沢地方森林組合、葛巻町森林組合
多層林化による持続可能な森林管理と木材活用の促進	加子母森林組合
バイオマスエネルギーの活用技術	森のエネルギー研究所
有機農業によるバイオマス利用と地域内循環	農事組合法人さん心野菜ネットワーク
大沼・流山ふるさとの森 地域に根ざすNPOと企業の連携	JR北海道、NPO法人ねおす
企業特性を活かしたCSR活動と社員研修活動の展開ステップ	NECフィールドディング
観光業者と連携した地域資源を活かす着地型ツーリズムの展開	株式会社JTB法人東京
「環境金融」による里地里山保全活用活動への効果的支援	株式会社滋賀銀行
ヨシ原の保全とヨシ紙への活用	山田兄弟製紙株式会社

## 3. 研究教育機関

フットパス計画による景観の保全管理	東京農業大学
文化的景観保全と修景計画づくり	東京農業大学
生き物（ギフチョウ）を指標にした里地里山の環境把握	広島大学

# 取組を広げ活性化するためのアイデアと手法を考える

- 1) 地域資源と人の発掘とかかわりの創出  
(秦野の「たっしゃもん」)
  - 2) ネットワーク型の学びの推進
  - 3) 持続・継続のためのアイデアと、  
生業作りを
- 
- ・留意点 (公共空間におけるメリット創出後の危機。  
初動からの行政・市民の関係構築が重要)



# おわりに一次世代につなぐために考えることー



3. 1 1 以後、自分達が暮らし、次の時代を生きる子ども達を育てること